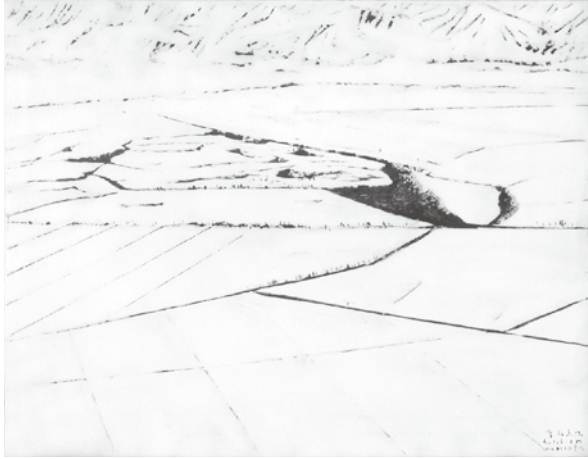
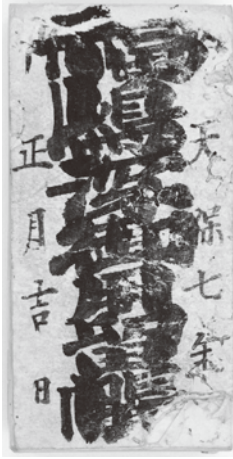


ラムサール条約湿地都市認証を受けている新潟市では、令和8(2026)年11月30日から12月2日まで世界湿地都市ネットワーク市長会議(市長や行政職員のほか、湿地に関する国際機関の専門家・研究者などが集まる会議)が開催されます。多くの湿地がある新潟市の中で、福島潟は市内最大の潟です。

本年は、福島潟干拓の先駆者と言われる山本丈右衛門(現柏崎市出身)が江戸時代に潟の新田開発を開始(1756年)してからちょうど270年にあたります。このことから本展では、福島潟と人々の関係を、歴史・民俗・美術資料から紹介します。新潟市にある潟や湿地に、より親しむきっかけとなれば幸いです。



富岡惣一郎「雪、福島潟1」1993年



天保7(1836)年
福島潟御用留帳



明治24(1891)年 福島潟日誌



アオリズキ、サシアミ

関連事業

- 昔の福島潟の広さと新田開発の痕跡をめぐるバスツアー
日 時：6月6日(土) 12:30~17:00
集合・解散は、新潟市北区郷土博物館
定 員：20人(要申込・先着順)
参加費：一般 800円 ※大学生以下の金額はお問い合わせください
(当館及び水の駅「ビュー福島潟」の観覧料を含む)
申 込：5月23日(土) 9:00から電話申込開始
- 講演会(1回限りの申込も可能です)
①6月14日(日)「越後平野と福島潟の成り立ち」
講師：澤口晋一氏(新潟国際情報大学教授)
②6月28日(日)「福島潟の新田開発」
講師：伊藤 充氏(新潟青陵大学特任教授)
③7月12日(日)「福島潟にまつわる伝説と妖怪について」
講師：高橋郁丸氏(新潟妖怪研究所所長)
④8月2日(日)「ラムサール条約湿地都市認証の価値と福島潟」
講師：若尾明弘氏(NPO法人 新潟湿地都市研究所理事長)
※講演会①~④各回の共通事項
時 間：14:00~15:30
定 員：30人(要申込・先着順)
申 込：5月20日(水) 9:00から電話申込開始
参加費：一般 300円、大学・高校生 170円、
中学生以下 40円(観覧料込) ※講座リピーター特典あり
- 学芸員による展示解説会(参加無料、申込不要、当日観覧券が必要)
日 時：6月27日(土)、7月26日(日)、8月22日(土)
各回とも14:00~

会期中のその他イベント

- ◆市民ボランティアによる常設展示ガイド(申込不要)
日 時：5月24日(日)、7月25日(土)、8月1日(土)
各日とも10:00~15:00(時間内いつでも)
※5月24日(日)は観覧無料です
- ◆ワラでナベシキ作り(申込不要)
日 時：8月11日(火・祝)
10:00~12:00、13:00~15:00
(時間内いつでも)
参加費：一般 460円、大学・高校生 330円
中学生以下 200円(観覧料込)
- ◆Kitahaku gallery 近藤充テンペラ画作品展
会 期：7月22日(水)~8月23日(日)
- ◆美術講演会
「テンペラ画の魅力と制作のおはなし」(仮題)
日 時：8月16日(日) 14:00~15:30
講 師：近藤 充氏(テンペラ画家)
定 員：30人(要申込・先着順)
申 込：7月22日(水) 9:00から電話申込開始
参加費：一般 300円、大学・高校生 170円、
中学生以下 40円(観覧料込)

次回企画展《第4回 新潟市北区子ども作品展》

令和8年9月19日(土)
~10月12日(月・祝)

新潟市北区郷土博物館

TEL 025-386-1081
FAX 025-388-6290

〒950-3322 新潟市北区嘉山3452番地 E-mail museum.n@city.niigata.lg.jp

- 開館時間 9:00~17:00
- 休 館 日 月曜(祝休日の場合は開館)、祝休日の翌日、年末年始
- 観 覧 料 一般260(200)円、大学・高校生130(100)円
中学生以下無料

※()内は有料20名様以上の団体料金です。
※障がい者手帳をお持ちの方等は観覧料が免除されます。



交通のご案内

- 交通のご案内
- 新新パイパス(R7)
豊栄ICより車で10分
競馬場ICより車で10分
- 日本海東北自動車道
豊栄新潟東港ICより
車で5分
- JR白新線
豊栄駅南口より徒歩15分

